

# 特別展「毒」

「毒はコワイ・・・」でも、だからこそ興味をそそる！  
実はこの世界は毒だらけ。もちろん我々の生活のそばにも・・・。

毒はヒトを含む生物に害を与える物質として知られています。天然に存在すると同時に、実は「毒」という考え方は、多様で複雑な自然界を理解・利用するために人が作り出した概念でもあります。「生物に何らかの影響をもたらす物質」のうち、ヒトにプラスに働くものを薬、マイナスに働くものを毒と呼んでいるにすぎません。人体に有用な物でも、取りすぎると毒になることがありますし、アレルギー反応にみられるように、感受性の高低によっても毒性は異なります。

本展では、動物、植物、菌類、そして鉱物や人工毒など、自然界のあらゆるところに存在する毒や、毒と共に進化してきた生物の歴史、古代より毒を利用し、時には武器として、時には薬として（ずる）賢く使用してきた人と毒との関係を、沢山のエピソードとともに紹介します。毒とそれに関わる私たち生物との関係を知ることは、自然界の神秘と驚きに満ちた一面を知るとともに、現代社会を生きる私たちのよりよい生活への大きな助けになると考えています。

特別展  
Special Exhibition  
POISON

毒

コノセカイハ、ドクダラケ。

7<sup>2024年</sup>月<sup>(土)</sup>13日 ~ 9<sup>2024年</sup>月<sup>(月・休)</sup>23日

名古屋市科学館 [理工館地下2階]  
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM イベントホール

図説はイーブイ  
イラストレーター：安藤真由美 写真提供：セブツラボ（www.sebutsulab.com） 写真提供：ヘンタニアクター（www.hentania.com） 写真提供：日本科学博物館

## 【開催概要】

- 企 画 名 : 特別展「毒」
- 会 場 : 名古屋市科学館 理工館地下 2 階イベントホール
- 会 期 : 2024 年 7 月 13 日 (土) ~9 月 23 日 (月・休)  
(9 時 30 分~17 時/最終入場は閉場 30 分前)
- 休 館 日 : 毎週月曜日、  
7 月 16 日 (火)、19 日 (金)、9 月 3 日 (火)、4 日 (水)、17 日 (火)、20 日 (金)  
※ただし、7 月 15 日 (月)、8 月 12 日 (月)、9 月 16 日 (月)、23 日 (月) は開館
- チ ケ ッ ト : ◎券種・金額 (全て税込)  
一般 1800 円 (1600 円)、高大生 1000 円 (800 円)、小中生 500 円 (300 円)  
※カッコ内は前売料金 ※上記料金でプラネタリウムを除く名古屋市科学館展示室もご覧いただけます。
- 発 売 期 間 : ◇前売券  
2024 年 5 月 21 日 (火) 10:00 ~ 2024 年 7 月 12 日 (金) 23:59
- 主 催 : 名古屋市科学館、読売新聞社、東海テレビ放送
- 特 別 協 力 : 国立科学博物館
- 制 作 協 力 : フジテレビジョン
- 協 力 : 海洋研究開発機構、北九州市立いのちのたび博物館、大日本除虫菊、東京農工大学、  
東京薬科大学、日本蛇族学術研究所、農業・食品産業技術総合研究機構、ブリヂストン、  
北海道大学植物園・博物館、ポーラ・オルビスホールディングス ポーラ文化研究所、  
ミュージアムパーク茨城県自然博物館、Meiji Seika ファルマ (以上予定)
- 協 賛 : 野田塾
- お 問 合 せ : 名古屋市科学館 052-201-4486

## 特別展「毒」の見どころをご案内

### ★総展示“毒”数およそ 200 点！各分野の「毒」を網羅する！

動物、植物、菌類、そして鉱物や人工毒など、自然界のあらゆるところに存在する毒について、動物学、植物学、地学、人類学、理工学の各研究分野のスペシャリストが徹底的に掘り下げます。

### ★巨大模型で“毒”生物を見よう！

「攻めるための毒」「守るための毒」を圧巻の巨大模型でみてみよう。

ハブは実物の約 30 倍、オオスズメバチは約 40 倍、イラガは約 100 倍、セイヨウイラクサは約 70 倍！ (実物比)

“毒”をもつ生物に大迫力で迫ります。



※東京会場の様子



画像提供：国立科学博物館

### ★毒きのこ、いろいろ

痙攣、腹痛、下痢、幻覚症状、細胞破壊・・・  
様々な中毒症状を引き起こす。



©2012 Mauro Teixeira Jr

### ★キオビヤドクガエル

警告色で自身が有毒動物であることを天敵にアピールし、無用な争いを避ける。